

令和6年度 福島県立若松商業高等学校 経営・運営ビジョン

福島県立若松商業高等学校 校訓

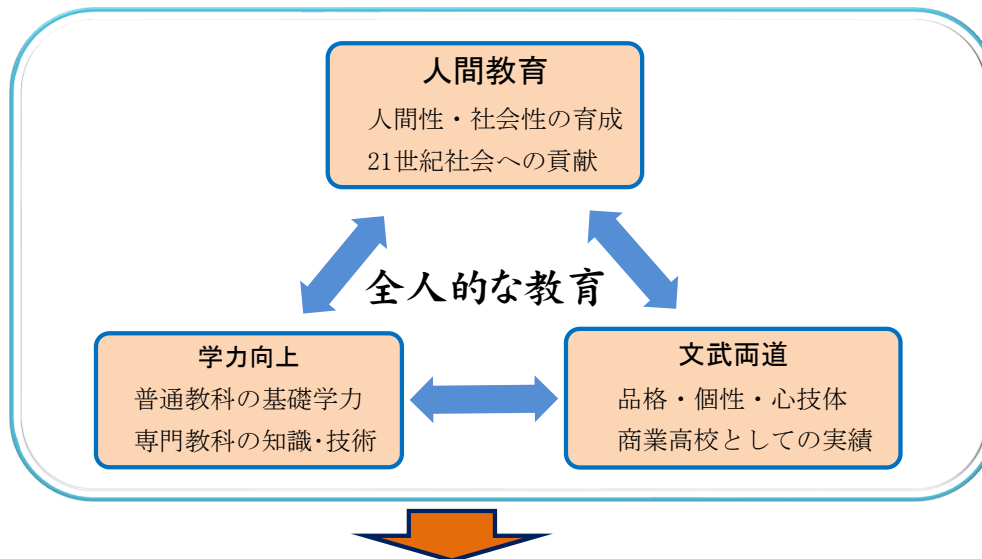
明浄 正直
誠実 剛健



学校経営・運営ビジョン

- 文武両道の学校づくりを推進し、学習活動・部活動を通して人間力（学力・品格・徳性・心技体）を高め、社会の形成者として必要とされる資質を備えた生徒を育成する。
- 生徒事故、職員事故及び学校事故の防止を図り、安全・安心な学校づくりに努める。

教育方針



◎ 服務倫理の遵守 ◎

教育目標

- 「明浄・正直・誠実・剛健」を学校生活に具現化させる。
- より高い志を持たせ、進路目標の実現を支援し達成させる。
- 若商の特色を生かした教育活動を通して、社会人として必要な資質を高めさせる。

一年

- 基本的な生活習慣の確立
- 基礎学力の定着
- 進路意識の向上

二年

- 健全な生活習慣の確立と自己管理能力の育成
- 学力の向上
- 進路希望の明確化を図る

三年

- 自己管理能力の育成と自律した生活習慣の確立
- 自律した学力の育成
- 進路希望の実現を図る

希望進路の実現

- ①大学・短大進学希望者合格100%
- ②公務員希望者合格100%、就職内定100%
- ③キャリア教育の充実

基礎学力の定着と専門教科の充実

- ①成績優秀者 各学年30名以上
- ②日商簿記検定2級合格30名以上
- ③情報技術者試験合格20名以上

欠席や遅刻・早退の防止

- ①欠課時数の減少、健全な生活習慣の確立
- ②1年間皆勤賞 各学年40名以上

集中した部活動の実施

- ①部活動終了時刻・下校時刻の徹底
- ②部活動実活動率100%

社会人にふさわしいマナーや能力指導の充実

- ①服装・頭髪の端正な身だしなみ、挨拶の励行
- ②コミュニケーション能力の育成
- ③生活環境の整理整頓と美化

安全教育の充実、法令遵守意識の高揚

- ①事故や問題行動の根絶
- ②防火・防災の徹底

開かれた学校づくりの推進

- ①PTA活動の充実
(PTA総会出席率60%以上)
- ②広報活動の充実

各部

総務部

- 1 PTA組織の強化
- 2 防火防災対策の充実
- 3 PTAによる学校教育活動への積極的協力
- 4 マイクロバスおよびメール配信の適切な運営

教務部

- 1 教員の教科指導力の向上
- 2 生徒の情報共有・基礎学力向上
- 3 授業時間の確保
- 4 新学習指導要領への対応
- 5 統合型校務支援システムの円滑な運用

生徒指導部

- 1 基本的生活習慣の確立
- 2 非行の防止
- 3 盗難の防止
- 4 交通事故の防止
- 5 教育相談の充実
- 6 生徒会活動の活発化

進路指導部

- 1 生徒ひとりひとりの希望する進路の実現
- 2 生徒ひとりひとりの「夢実現」に対する支援
- 3 生徒の進路意識の早期高揚と進路目標の早期確立

保健厚生部

- 1 心身ともに健全な生徒の育成
- 2 環境衛生活動
- 3 教職員の健康保持

図書部

- 1 生徒が学習する上で必要となる資料や情報を収集・整理し、利用しやすい環境作り
- 2 生徒の問題発見及び解決能力を養う活用方法の構築
- 3 図書委員会の主体的な活動を促す環境・組織作り、指導
- 4 読書を通じた生徒の学習活動への支援及び人格形成
- 5 ビブリオバトル大会出場

情報管理部

- 1 校内クラウド化のネットワーク管理の徹底
- 2 部署ごとのWebページ更新の促進
- 3 Webページの管理・サポート

若商デパート

- 1 商業教育の有効な資源としての若商デパートの活用
- 2 効率的なデパート経営
- 3 地域との連携
- 4 デパートの販売環境の整備

各教科

商業科

- 1 授業力の向上に努め、「質の高い授業」を実践する。
- 2 商業教育をとおして、ビジネスマンとしての資質向上に向けた指導を充実させる。
- 3 資格取得の達成に向けて、充実した指導を行う。
- 4 新学習指導要領の実施に向けた研究を行う。

国語科

- 1 生徒の基礎学力の定着を図る。
- 2 生徒の読解力・表現力の向上を図る。
- 3 小論文指導や読書指導の充実を図る。

地歴・公民科

- 1 国家及び社会の形成者として必要とされる資質を育む。特に学校における主権者教育において期待される役割を果たす。
- 2 生徒が歴史的事象や社会的事象を身近に捉え、理論的な考察力や自分の考えや意見をまとめる表現力を養う。
- 3 生徒の進路希望実現も見据えて社会生活に必要な事柄など、基礎的な用語や事項を理解させ、基礎的な学力の定着を図る。
- 4 演習や作業、発表などを通じて主体的に学習する態度を身に付けさせる。
- 5 各担当者間で定期的な話し合いを持ち、進度や目的の達成、ICTの活用について共通理解をはかりながら進める。

数学科

- 1 わかりやすい授業を実践し、家庭学習できる環境をつくり基礎学力の向上を図る。
- 2 進路実現に向けた学力の育成を図る。

理科

- 1 生徒の興味・関心が持続し、自ら考え前向きに自然の事物・現象に向き合うことができるよう指導に努めるとともに、豊かな自然観を育成する。
- 2 教材を工夫し、理解しやすい授業展開の実践に努める。

英語科

- 1 3年間の見通しを持ち、4技能(読む・書く・話す・聞く)をバランス良く身に付けさせる授業を行う。
- 2 生徒が自主的に学習に取り組めるよう学習環境を整備する。
- 3 全商英検の資格取得を目標に指導する。

保健体育科

- 1 学習規律の確立
- 2 運動の学び方を育成・生涯スポーツ
- 3 運動技能・体力の向上
- 4 健康の保持増進

芸術科

- 1 音楽に親しみ、生涯にわたって音楽を愛好する心情・態度を育成する。
- 2 音楽を演奏するための基本的な技術・知識を身に付けさせ、主体的に表現する力を育成する。
- 3 音楽の多様さや様々な表現の在り方を理解させ、その良さや魅力について自ら考える力を育成し、音楽を深く味わう感性を育成する。
- 4 音楽と生活との関わりを意識させる。

家庭科

- 1 生活を主体的に創造する能力を育成する。
- 2 職業観を育成する。